



2022年8月10日

各位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名:代表取締役社長 橋爪 克仁
(コード番号:6090 東証グロース)
問合せ先:取締役コーポレート統括本部長 大畑 恭宏
(TEL:03-3551-2180)

通期個別業績の前期実績との差異、 法人税等調整額及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)の通期個別業績につきまして、前期実績との差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 前期(2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日))の個別業績と当期(2021年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日))個別業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A) (2021年6月期)	1,028	107	131	190	32.28
当期実績(B) (2022年6月期)	1,148	177	202	210	35.61
増減額(B-A)	119	70	71	19	3.33
増減率(%)	11.7	65.7	54.6	10.4	—

2. 差異の理由

先端研究開発支援事業における付加価値の高い高感度網羅解析サービス拡販を行った結果、受注が大幅に増加し、それに伴い売上も増加いたしました。また引き続き一般管理費の削減にも取り組んだ結果、営業利益が増加いたしました。

当期純利益も上記理由により増加しておりますが、2021年6月期は当社の子会社であったHMTバイオメディカル株式会社を吸収合併したことによる特別利益の計上等があったため、増加額は縮小しております。

3. 個別決算及び連結決算における法人税等調整額の内容

当社の今後の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当社において繰延税金資産の計上により法人税等調整額を△29百万円(△は利益)計上いたしました。

また、連結決算において法人税等調整額△7百万円(△は利益)を計上しております。

以上の結果、連結決算における法人税等調整額は△36百万円(△は利益)となりました。

4. 連結決算における営業外収益(為替差益)の内容

2022年6月期第4四半期連結会計期間において、外国為替相場の変動により、当社の外貨建資産及び在外連結子会社の円建債権債務などにかかる為替差益28百万円を営業外収益に計上いたしました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間までに為替差益18百万円を計上しており、2022年6月期において為替差益46百万円を計上することとなりました。

5. 業績に与える影響

上記の法人税等調整額及び営業外収益(為替差益)につきましては、本日公表の「2022 年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上